

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	保健Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科／ヘアメイク科	1	30
使用教材	保健Ⅰ			出版社	社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識を習得する。				
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	保健Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	高橋 剛 他1名			実務経験	○
実務内容	行政薬剤師として宮城県庁にて勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1章/頭部、顔部、頸部の体表解剖学	1項 人体各部の名称
2	第1章/頭部、顔部、頸部の体表解剖学	2項 頭部、顔部、頸部の体表解剖学
3	第2章/骨格器系	1項 骨の種類と構造 2項 骨の連結・骨格器とそのはたらき
4	第2章/骨格器系	3項 骨格器とそのはたらき
5	第3章/筋系	1項 筋の種類とその特徴 2項 主な骨格筋とそのはたらき
6	第3章/筋系	3項 表情筋と表情運動 4項 理容美容の作業と筋疲労
7	まとめ	まとめを行う
8	解説	振り返り・解説
9	第4章/神経系	1項 神経系の成り立ち
10	第4章/神経系	2項 中枢神経とそのはたらき 3項 末梢神経とそのはたらき
11	第5章/感覚器系	1項 視覚 / 2項 聴覚 / 3項 平衡感覚
12	第5章/感覚器系	4項 味覚 / 5項 嗅覚 / 6項 皮膚感覚
13	まとめ	まとめを行う
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	第6章/血液・循環器系	1項 血液のあらまし
17	第6章/血液・循環器系	2項 血液循環の仕組み
18	第6章/血液・循環器系	3項 血液の循環経路
19	第6章/血液・循環器系	4項 心臓と血管のはたらき 5項 リンパ管系の仕組みとはたらき
20	第7章/呼吸器系	1項 呼吸器系のあらまし 2項 気道
21	第7章/呼吸器系	3項 肺の仕組みとガス交換 4項 呼吸運動
22	まとめ	まとめを行う
23	解説	振り返り・解説
24	第8章/消化器系	1項 消化器系のあらまし
25	第8章/消化器系	2項 消化管の仕組み

26	第 8 章/消化器系	3 項 消化管のはたらき
27	第 8 章/消化器系	4 項 消化と物質代謝
28	まとめ	まとめを行う
29	解説	振り返り・解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	文化論		
必修選択	必修	(学則表記)	文化論		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科／ヘアメイク科	2	60
使用教材	文化論			出版社	社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファッション文化史の流れを習得する。				
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	馬淵 寿美絵			実務経験	○
実務内容	青森市内の美容サロンにて勤務、店長・取締役を経験。美容専門学校にて実習、美容理論、文化論指導。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1章 総論 第1節 総論	教科、授業進行の説明。美容師に求められるものについて。用具の説明。
2	第2章 日本の美容業の歴史 第1節～第2節	第1節理容業・美容業の発生第2節江戸時代の理容業・美容業
3	第2章 日本の美容業の歴史 第3節～第4節	第3節近代の理容業・美容業第4節現代の理容業・美容業
4	第3章ファッション文化史日本編 第1節 縄文・弥生・古墳	縄文・弥生・古墳時代の髪型、化粧、服装について
5	第3章ファッション文化史日本編 第2節 古代（飛鳥・奈良・平安時代）	古代の髪型、化粧、服装について
6	第3章ファッション文化史日本編 第3節 第4節	中世・近世Ⅰの髪型、化粧、服装について
7	第3章ファッション文化史日本編 第5節 近世Ⅱ（江戸時代）	江戸時代の髪型について
8	第3章ファッション文化史日本編 第5節 近世Ⅱ（江戸時代）	江戸時代化粧・服装について日本髪 髪型・服装・日本髪小テスト
9	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代（明治・大正・昭和20年まで）	明治の髪型・服装・化粧について
10	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代（明治・大正・昭和20年まで）	明治の髪型・服装・化粧について
11	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ（1945～1950年代）	大正、昭和の髪型・服装・化粧について
12	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ（1960～1970年代）	1960～1970年代の髪型、化粧、服装について
13	まとめ	まとめを実施する
14	テスト解説 第3章ファッション文化史日本編 第9節 第10節	テストの振り返り・解説 1980～2000年代の髪型・化粧、服装について
15	総まとめ	総まとめを行う
16	第4章ファッション文化史西洋編 第1節～第3節 古代エジプト・ギリシャ・ローマ・ゲルマン	古代エジプト・ギリシャ・ローマ・ゲルマンの髪型、化粧、服装について
17	第4章ファッション文化史西洋編 第4節中世ヨーロッパ	中世ヨーロッパ、16世紀の髪型、化粧、服装について
18	第4章ファッション文化史西洋編 第5節近世Ⅰ（16世紀）第6節近世Ⅱ（17世紀）	16世紀、17世紀の髪型、化粧、服装について
19	第4章ファッション文化史西洋編 第7節近世Ⅲ（18世紀）	18世紀の髪型、化粧、服装について
20	第4章ファッション文化史西洋編 第8節近代Ⅰ（18世紀末～19世紀初め） 第9節近代Ⅱ（19世紀）	18世紀、19世紀の髪型、化粧、服装について 近世Ⅰ～近代小テスト

21	第4章ファッション文化史西洋編 第10節現代Ⅰ（1910～1920年代） 第11節現代Ⅱ（1930～1940年代前半）	1910～1940の髪型・化粧・服装について
22	第4章ファッション文化史西洋編 第12節現代Ⅲ（1940後半～1950年代） 第13節現代Ⅳ（1960年代）	1940～1960の髪型・化粧・服装について
23	第4章ファッション文化史西洋編 第14節現代Ⅴ（1970年代）	1970の髪型・化粧・服装について
24	第4章ファッション文化史西洋編 第15節現代Ⅵ（1980年代）	1980の髪型・化粧・服装について
25	第4章ファッション文化史西洋編 第16節現代Ⅶ（1990～2010年代）	1990～2010年代の髪型・服装・化粧について
26	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装	和装の礼装について
27	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装	洋装の礼装について
28	まとめ	まとめを実施する
29	解説	振り返り・解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	運営管理		
必修選択	必修	(学則表記)	運営管理		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科／ヘアメイク科	1	30
使用教材	運営管理			出版社	社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容経営者として活躍する上で必要とする知識の基礎を理解する。		
到達目標	自身で生活の中から知識や理論を深めることができる。働く者の立場と、経営者の立場を理解し、キャリアプランに組み込んでいくことができる。		
評価基準	テスト：５０％　小テスト：３０％　授業態度：２０％		
認定条件	出席が総時間数の３分の２以上ある者 成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型授業形式を併用し、実施する。		
担当教員	佐藤　いずみ	実務経験	○
実務内容	埼玉・仙台にて５年間美容師の仕事に従事し美容師仕事の他、ブライダル分野にも携わる		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション	講師自己紹介/運営管理の授業の概要/授業の受講ルールを教える 経営の捉え方、経営資源とは、経営計画とはを教える
2	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは	経営とは何か・継続企業の原則
3	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは	経営資源と経営計画
4	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは	経営戦略とは何か/良い店の実現を教える
5	第2章 理容業・美容業の経営について第1節 第2節	業界の概要について教える
6	第2章 理容業・美容業の経営について第3節 第4節	業界の競争と方向性の変化/サービスについて教える
7	第1編 第3章 資金の管理 第1節 第2節	美容業の顧客/資金管理の重要性と資金の流れを把握することを教える
8	第1編 第3章 資金の管理 第3節 第4節	利益と損益、会計の意味や考え方を教える コスト管理、各税金と、従業員に対する労務管理の基本を教える
9	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金①税金の種類とそのタイミング
10	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金②青色申告制度
11	第2編人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源	人という資源・労働者の権利
12	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章健康・安全な職場環境の実現	健康・安全な職場環境の実現①健康診断
13	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章健康・安全な職場環境の実現	健康・安全な職場環境の実現②理美容業の健康問題
14	まとめ	前期授業習得度の確認・前期定期試験
15	振り返り	回答&解説
16	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から	社会保険①国民年金
17	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から	社会保険①厚生年金
18	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から	社会保険②健康保険

19	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から	第	社会保険②国民健康保険・介護保険
20	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から	第	社会保険③雇用保険
21	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から	第	社会保険③労働者災害保険・マイナンバー制度
22	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から	第	後期授業習得度の確認
23	第2編 第3章		後期筆記の解説。 社会保険の総まとめを行う
24	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン		価値の実態
25	第3編 顧客のために 第2章 マーケティング		マーケティング①
26	第3編 顧客のために 第2章 マーケティング		マーケティング②
27	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割		接客の実践①～④
28	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割		接客の実践⑤接客におけるトラブル対応
29	総まとめ		後期授業内容の習得度の確認
30	解説 総まとめ		後期筆記内容の解説。 運営管理授業全般の総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科／ヘアメイク科	2	60
使用教材	美容技術理論Ⅰ			出版社	社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。				
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト：50％ 小テスト：30％ 授業態度：20％				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	馬淵 寿美絵 他1名			実務経験	○
実務内容	青森市内の美容サロンにて勤務、店長・取締役を経験。美容専門学校にて実習、美容理論、文化論指導。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション ＜序章 美容技術理論を学ぶにあたって＞	※ 美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れを説明 ・美容理論について・美容技術者としての心構え・安定した姿勢、作業点と姿勢 ・作業点と姿勢 ・力の配分と姿勢 ・人体各部の名称 ・美容における頭部の区分
2	＜第1章 美容用具＞ 1. 美容技術における用具 2. コーム 3. ブラシ 4. シザース	・美容の道具、器具、機械、取り扱い方 ・コームの種類と各部の名称、選定法、手入れ法・ブラシの種類、選定法と手入れ法 ・シザースの種類、各部の名称、選定法と手入れ法
3	＜第1章 美容用具＞ 5. レザー 6. ビン類、ヘアクリップ ロッド 8. ローラー	・いろいろな太さのローラー ・ホットカーラー（ローラー） ・レザーの種類と各部の名称、刃線の形態と力のかり方、選定法と手入れ法・ヘアビンのいろいろ・ロッドの種類
4	＜第1章 美容用具＞ 9. ヘアアイロン 10. ヘアドライヤー 11. ヘアスチーマー 12. 遠赤外線機	・ヘアアイロンの種類、各部の名称、選定法と手入れ法 ・ヘアドライヤーの種類と構造 ・タービネートタイプドライヤーの構造 ・ヘアスチーマーの選定法・遠赤外線機的作用
5	＜第2章 シャンプーイング＞ 1. シャンプーイング総論 2. サイドシャンプー 3. バックシャンプー	・シャンプーイングの目的、施術の内容による目的の違い、メカニズム ・シャンプー剤の成分、種類・シャンプーイングの際の注意・シャンプー技術のプロセス ・ブラッシング・ファースト、セカンドシャンプー・バックシャンプーの手順、指の動き
6	＜第2章 シャンプーイング＞ 4. リンス、コンディショナー・トリートメント	・リンス、コンディショナー、トリートメントの役割、違い、成分 ・リンスの目的、種類、技術・コンディショナーの目的 ・ヘアトリートメントの目的、種類技術の一例
7	＜第2章 シャンプーイング＞ 5. スカルプトリートメント 6. ヘッドスパ	・スカルプトリートメントの目的、要素、種類・頭皮のトラブルのいろいろ ・育毛剤の成分とはたらき・ノーマルスカルプトリートメント技術の一例・スカルブマッサージ技術の目的と手順 ・ヘッドスパのプロセス、リラクゼーションマッサージ
8	前期まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：序章～第2章】
9	＜第5章 パーマネントウェービング＞ 1. パーマネントウェーブの歴史と現在 2. パーマネントウェーブの理論 3. パーマ剤の分類	・パーマネントウェーブをはじめとする美容関係の歴史・毛髪構造について ・ウェーブが形成される仕組み・パーマ剤の分類、種類
10	＜第5章 パーマネントウェービング＞ 4. パーマ剤に関する注意事項 5. パーマネントウェーブ技術	・使用前、操作中に関する注意事項 ～ スタイリング
11	＜第5章 パーマネントウェービング＞ 6. ワインディングのバリエーション 7. 縮毛矯正(高温整髪用アイロン使用)	・ワインディングにおける応用Ⅰ～カウンセリング（ブレン＆仕上げ）
12	＜第3章 ヘアデザイン＞ 1. 美容とデザイン	・錯覚現象を美容に生かそう・デザインの要素

13	<第3章 ヘアデザイン> 1. 美容とデザイン	・デザインの原理
14	前期期末まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：第5章・第3章】
15	総合授業	総まとめを行う
16	<第4章 ヘアカットイング> 1. ヘアカットイングとは 2. シザーズとレザーの扱い方 3. 美容刃物 4. ヘアカットイングの正しい姿勢	・シザーズ、レザーの持ち方等・刃物の材質、材料、正しい姿勢の基本
17	<第4章 ヘアカットイング> 5. ブロッキング 6. ヘアカットイングの基礎理論 7. ベーシックなカット技法	・頭部の基礎分割線・基準となる頭部のポイント、スライスの種類・パネルと頭皮の角度・毛先が集まる位置とカットラインの関係・パネルの幅や長さでカットラインの関係・パネルの角度とシルエットの関係・ラインの設定法 ・ワンレングスカット・グラデーションカット・レイヤーカット・セイルレングスカット
18	<第4章 ヘアカットイング> 8. シザーズによるカット技法 9. レザーによるカット技法	・シザーズによるカット技法、ストロークの分類 ・レザーによるカット技法のいろいろ、テーパーカットの分類
19	後期中間まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：第4章】
20	<第6章 ヘアセッティング> 1. ヘアカットイングとは 2. ヘアパーティング 3. ヘアシェービング	・オリジナルセットの基本的な要 ～ スtrandシェーブ、フィンガーウエーブ時の持ち方
21	<第6章 ヘアセッティング> 4. ヘアカーリング 5. ヘアウエービング	・オリジナルセットの基本的な要 ～ スtrandシェーブ、フィンガーウエーブ時の持ち方 ・カール各部の名称、分類 ～ クロッキノールカール技術の一例
22	<第6章 ヘアセッティング> 6. ローラーカーリング 7. プロードライ	・ヘアウエーブの名称、分類 ～ ローラーウエーブ ・ベースの幅と厚さ ～ ハンドドライヤーとブラシの基本操作
23	<第6章 ヘアセッティング> 8. アイロンセッティング9. バックコーミング 10. アップスタイル11. ウィッグとヘアピース	・アイロンの持ち方 ～ ・ウィッグ、ヘアピース手入れ法
24	<第7章 ヘアカラーリング> 1. ヘアカラーリング概要2. ヘアカラーの種類 3. ヘアカラーのタイプ別特徴 4. 染毛のメカニズム	・ヘアカラーリングの歴史、種類 ～ タイプ別染毛メカニズム
25	<第7章 ヘアカラーリング> 4. 染毛のメカニズム 5. 色の基本 6. 毛髪のレベルとアンダートーン	・ヘアカラーの色選び～アンダートーン
26	<第7章 ヘアカラーリング> 7. パッチテスト8. 染毛剤使用時の注意 9. ヘアカラーリングの道具10. 酸化染毛剤の技術手順 11. 酸性染毛剤の技術手順 12. ヘアブリーチ	・染毛剤と皮膚炎 ～ ・ヘアカラーリング専用の施術道具 ・パッチテスト ～ ・ヘアブリーチのプロッキング一例
27	後期期末まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：第4章・第7章】
28	まとめ	まとめを実施する
29	解説	振り返り・解説
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅰ－A	
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅰ－A	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	3 90
使用教材	カットティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第1課題レイヤーカットの構成 基礎知識を習得する		
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す		
評価基準	総まとめ40% 　まとめ20% 　提出物20% 　授業態度20%		
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	杉本　さおり他4名	実務経験	○
実務内容	関東の美容サロンにて5年勤務経験あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認（道具名称・扱い方・管理方法） シザーの開閉、シザーワーク、コームワーク
2	カットティング 基本	ブロッキング 各ブロックの名称、ブロッキングの取り方、ブロッキング計測
3	カットティング 基本	ブロッキング（取り方、計測） ヘムライン
4	カットティング 基本	ブロッキング（取り方、計測） ヘムライン、第3ブロック
5	カットティング 基本	ブロッキング計測 第3ブロック、第2ブロック
6	カットティング 基本	ブロッキング計測まとめを実施する 第3ブロック、第2ブロック
7	カットティング 基本	第2ブロック、第1ブロック
8	カットティング 基本	第1ブロック、バックのカット修正
9	カットティング 基本	バックのカット修正 フェイスライン、フロント
10	カットティング 基本	フェイスライン、フロント サイド
11	カットティング 基本	サイド チェックカット
12	カットティング 基本	チェックカット カットティング手順再確認、カット計測
13	カットティング 基本	カットティング手順再確認、カット計測
14	カットティング 基本	カットティング総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅰ－B	
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅰ－B	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	3 90
使用教材	ワインディング教材一式 カット教材一式 衛生教材一式 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	【ヘアアレンジ】頭部の名称からヘアアレンジの基礎技術・現場での基礎技術を出来る様にする		
到達目標	【ヘアアレンジ】ブラッシング・ピンニングのヘアアレンジの基本テクニックを理解する。 編み込みやコテの使用等のヘアアレンジが出来る様になる。		
評価基準	【ヘアアレンジ】ヘアアレンジ単元50％(実技総まとめ30％、授業意欲20％)		
認定条件	出席が総時間数の5分の4以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	【ヘアアレンジ】美容実習Ⅰ-A、美容実習Ⅰ-B、美容実習Ⅰ-D、美容実習Ⅰ-E		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	細谷 恵子	実務経験	○
実務内容	仙台市内結婚式場勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション毛髪頭部名称、ブラッシング	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認、 毛髪知識、頭部名称
2	ブロッキング ポニーテール	ブロッキング、ポニーテール導入
3	ポニーテール 三つ編み	ポニーテール反復練習 三つ編み導入
4	ポニーテール 編み込み・フィッシュボーン	ポニーテール反復練習 編み込み・フィッシュボーン導入
5	ポニーテールテスト スタイル作り①	ポニーテールテスト、振り返り 学んだテクニックを使いスタイルを作る
6	スタイル作り②	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り
7	ホットカーラー	ホットカーラー導入
8	ホットカーラー ピンニング	ホットカーラー反復練習 ピンニング導入
9	ホットカーラー／ピンニング／ 逆毛	ホットカーラー、ピンニング反復練習 逆毛導入
10	ホットカーラー／ピンニング／ 逆毛	ホットカーラー、ピンニング、逆毛反復練習
11	アイロン	アイロン導入
12	アイロン	アイロン反復練習
13	スタイル作り③	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り
14	総まとめ	実技総まとめ
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅰ－C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅰ－C		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	カットイング教材一式、美容技術理論Ⅰ メイク道具一式・メイクテキストベーシック・問題集		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【美容実習】カットイングの基礎であるワンレングスカット、グラデーションカット、レイヤー（セイム）カット技術について基礎を理解して習得する 【トレンドメイク】ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする		
到達目標	【美容実習】カットイングの基礎知識を学び、ベーシックカットの技術習得を目指す 【トレンドメイク】ショーメイク、スチール撮影(メイク技術の基礎を理解し、技術ができるようになる)		
評価基準	【美容実習】総まとめ20%　まとめ20%　授業態度10% 【トレンドメイク】トレンドメイク単元50%(実技総まとめ30%、授業意欲20%)		
認定条件	出席が総時間数の5分の4以上ある者　成績評価が2以上の者		
関連資格	【美容実習】美容師国家資格（実技）		
関連科目	【美容実習】美容技術理論Ⅰ 【トレンドメイク】カラー&ファッション、テクニカルヘアメイク		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	緒志　淳美　他4名	実務経験	○
実務内容	美容部員、関東のサロンにて実務経験5年間あり		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元		内容
1	美容実習	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認（道具名称・扱い方・管理方法） シザーの持ち方、開閉、シザーワーク、コームワーク、姿勢、ボディポジション
	トレンドメイク	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 ベースメイク導入、実践
2	美容実習	カットイング 基本	シザーの持ち方、開閉、シザーワーク、コームワーク、姿勢、ボディポジション、 カットイング理論、ブロッキング、カット手順、ワンレングスカット
	トレンドメイク	メイクの歴史①	古代～中世～近代のメイクについて (時代背景や特徴について)
3	美容実習	カットイング 基本	シザーの開閉、シザーワーク、コームワーク、ブロッキング、カット手順　ワン レングスカット
	トレンドメイク	メイクの歴史②	年代別　20、30、40
4	美容実習	カットイング 基本	シザーの開閉、ブロッキング、カット手順、ワンレングスカット
	トレンドメイク	年代別のメイク①	年代別　50
5	美容実習	カットイング　まとめ	ワンレングスカットまとめを実施する　ブロッキング、ワンレングスカット 振り返り
	トレンドメイク	年代別のメイク②	年代別　60
6	美容実習	カットイング 基本	グラデーションカット　カットイング理論、ブロッキング、 ワンレングスカット、グラデーションカット
	トレンドメイク	年代別のメイク③	年代別　70、80
7	美容実習	カットイング 基本	グラデーションカット　カットイング理論、ブロッキング、 ワンレングスカット、グラデーションカット
	トレンドメイク	年代別のメイク④	年代別　90、2000

8	美容実習	カッティング 基本	グラデーションカット カッティング理論、ブロッキング、ワンレングスカット、グラデーションカット
	トレンドメイク	年代別のメイク⑤	年代別の技術まとめ フルメイク総まとめ、振り返り
9	美容実習	カッティング 基本	レイヤーカット カッティング理論、ブロッキング、セიმレイヤーカット
	トレンドメイク	スチールメイク①	スチールメイク(トレンド)制作(導入、実践) テーマに合わせて行う
10	美容実習	カッティング 基本	レイヤーカット カッティング理論、ブロッキング、セიმレイヤーカット
	トレンドメイク	スチールメイク②	スチールメイク(トレンド)制作(実践) テーマに合わせて行う
11	美容実習	カッティング 基本	レイヤーカット カッティング理論、ブロッキング、セიმレイヤーカット
	トレンドメイク	スチールメイク③	スチールメイク(トレンド)制作(実践) テーマに合わせて行う
12	美容実習	カッティング 基本	レイヤーカット カッティング理論、ブロッキング、セიმレイヤーカット
	トレンドメイク	スチールメイク④	スチールメイク(トレンド)制作(総まとめ) テーマに合わせて行う
13	美容実習	カッティング 総まとめ	レイヤーカット総まとめを実施する ブロッキング、セიმレイヤーカット 振り返り
	トレンドメイク	スチールメイク⑤	テーマに合わせた作品制作
14	美容実習	カッティング基本	セニングカット (レザーカット)
	トレンドメイク	スチールメイク⑥	テーマに合わせた作品制作
15	総合授業		まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習ⅠーD		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習ⅠーD		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科		3 90
使用教材	ワインディング教材一式 カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート			出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第1課題カッティングの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する 美容師国家試験第2課題ワインディング技術について基礎を理解し習得する				
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術、第2課題ワインディング技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す				
評価基準	総まとめ40% まとめ20% 提出物20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容実習ⅠーA、美容技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	杉本 さおり他4名			実務経験	○
実務内容	関東の美容サロンにて5年勤務経験あり。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認（道具名称・扱い方・管理方法）、机上セッティング ・ウィッグの取り扱い、コームワーク、縦スライス、横スライス、二重ゴム、分け取り、ブロッキング構成習得 ・前期再確認、シザーの持ち方、開閉、シザーワーク、コームワーク、姿勢、ボディポジション、カッティング手順再確認。国家試験衛生
2	・ワインディング 基本 ・カッティング	・コームワーク、縦スライス、横スライス、二重ゴム、分け取り、ブロッキング構成習得、復習、強化、ブロッキング計測10分 ・カッティング手順再確認（手順、ボディポジション、チェックカット）計測30分、国家試験衛生
3	・ワインディング 基本 ・カッティング	・ブロッキング構成習得、復習、強化、ブロッキング計測10分～7分、上巻き下巻き導入 ・カッティング手順再確認（手順、ボディポジション、チェックカット）計測30分～25分、国家試験衛生
4	・ワインディング 基本 ・カッティング	・ブロッキング構成、計測7分～5分、上巻き下巻き復習、センター導入、習得 ・カッティング手順再確認（手順、ボディポジション、チェックカット）計測25分、国家試験衛生
5	・ワインディング 基本 ・カッティング	・ブロッキング構成、計測5分、上巻き、下巻き、センター巻き、復習、強化 ・カッティング手順再確認（手順、ボディポジション、チェックカット）計測25分、国家試験衛生
6	・ワインディング まとめ ・カッティング	・ブロッキングまとめを実施する 計測5分、コームで取るブロッキング（12ブロック）導入、計測5分、センター強化、計測センター15分、フロント導入、構成 ・カッティング手順再確認（手順、ボディポジション、チェックカット）計測25分、国家試験衛生
7	・ワインディング 基本 ・カッティング まとめ	・ブロッキング（コーム、12ブロック）計測4分、センター強化、計測センター12分～10分、フロント復習、強化、計測1本1分、両バックサイド導入 ・カッティングまとめを実施する 計測25分
8	・ワインディング 基本 ・カッティング	・ブロッキング（コーム、12ブロック）計測4分、センター強化、計測センター10分～7分、フロント、バックサイド復習、強化、計測1本1分～45秒、両ネープ導入 ・カッティング手順再確認、計測25分～20分、国家試験衛生
9	・ワインディング 基本 ・カッティング	・ブロッキング（コーム、12ブロック）計測4分、センター計測7分、フロント、両バックサイド復習、強化、計測1本45秒、両ネープ復習、強化、サイド導入 ・カッティング手順再確認、計測25分～20分、国家試験衛生
10	・ワインディング 基本 ・カッティング	・ブロッキング（コーム、12ブロック）計測4分、センター計測7分、フロント、両バックサイド強化、計測1本40秒～35秒、両ネープ、サイド復習、強化 ・カッティング手順再確認、計測（カッティングのみ）20分、国家試験衛生
11	・ワインディング 基本 ・カッティング	・ブロッキング（コーム、9ブロック）計測4分～3分、センター計測7分～6分30秒、フロント、両バックサイド強化、計測35秒～30秒、全頭巻き計測35分 ・カッティング手順再確認、計測（カッティングのみ）20分～18分、国家試験衛生
12	・ワインディング 基本 ・カッティング	・ブロッキング（コーム、9ブロック）計測4分～3分、センター計測6分30秒、フロント、両バックサイド計測30秒、全頭巻き計測35分～30分 ・カッティング手順再確認、計測（カッティングのみ）18分（チェックカット込み）22分～20分、国家試験衛生
13	・ワインディング 基本 ・カッティング 総まとめ	・ブロッキング（コーム、9ブロック）計測3分、センター計測6分30秒、両バックサイド計測30秒～27秒、全頭巻き計測35分～30分 ・カッティング総まとめを実施する 計測20分
14	・ワインディング 総まとめ ・カッティング	・ワインディング総まとめを実施する 計測ブロッキング（コーム、9ブロック）3分、全頭巻き30分 ・カッティング手順再確認、計測（カッティングのみ）18分～16分、（チェックカット込み）22分～20分、国家試験衛生
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅰ－E	
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅰ－E	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	90
使用教材	オールウエーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター ユアサポート

科目の基礎情報②

授業のねらい	【美容実習】美容師国家試験第2課題オールウエーブセッティング基礎知識を身に付ける 【トレンドメイク】ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする		
到達目標	【美容実習】美容師国家試験第2課題オールウエーブセッティング技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す 【トレンドメイク】ショーメイク・スチール撮影(メイク技術の基礎を理解し、技術ができるようになる)		
評価基準	【美容実習】総まとめ20% まとめ20% 授業態度10% 【トレンドメイク】単元50%(実技テスト20%、提出物15% 授業意欲15%)		
認定条件	出席が総時間数の5分の4以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	【美容実習】美容師国家資格(実技)		
関連科目	【美容実習】美容技術理論Ⅰ 【トレンドメイク】カラー&ファッション、テクニカルヘアメイク、美容実習Ⅰ-C		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	川田 みほ他3名	実務経験	○
実務内容	仙台市内サロンにて11年勤務。スタイリストとして後輩育成などに務める。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元		内容
1	美容実習	新入生オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 教材確認(教材の名称、扱い方、管理方法)、ウィッグ事前仕込み(カット)
	トレンドメイク	ショーメイク①	立体感や骨格をとらえたメイク(導入、実践)
2	美容実習	オールウエーブセッティング 基本	ウィッグ事前仕込み(カット、パーマ)
	トレンドメイク	ショーメイク②	Wラインの使ったメイク(導入、実践)
3	美容実習	オールウエーブセッティング 基本	ウィッグ事前仕込み(カット、パーマ)
	トレンドメイク	ムービーメイク①	ムービーで行うメイク
4	美容実習	オールウエーブセッティング 基本	ウィッグ事前仕込み(カット、パーマ) 机上セッティング、道具確認、7段構成の展開図及び構成完成図の手順確認、 ローション塗布、ウェーブ基本導入
	トレンドメイク	ムービーメイク②	ムービーで行うメイク
5	美容実習	オールウエーブセッティング 基本	ローション塗布、ウェーブ基本導入、ウェーブ、リッジ復習、強化 1段目馬蹄シェーブ、スカルプチュアカール(スライス、手順、ピンング)
	トレンドメイク	コンテストメイク①	テーマに合わせたメイクを行う
6	美容実習	オールウエーブセッティング 基本	ウェーブ、リッジ復習、強化、1段目馬蹄シェーブ、スカルプチュアカール(スライス、手順、ピンング) 2段目ウェーブ、リッジ導入
	トレンドメイク	コンテストメイク②	テーマに合わせたメイクを行う

7	美容実習	オールウエーブセッティング 基本	1 段目馬蹄シェーブ、スカルプチュアカール（スライス、手順、ビニング）、計測 7 分 2 段目ウエーブ、リッジ復習、強化 3 段目導入（ウエーブ、リッジ、スカルプチュアカール）
	トレンドメイク	作品作り①	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
8	美容実習	オールウエーブセッティング 基本	1 段目馬蹄シェーブ、スカルプチュアカール（スライス、手順、ビニング）、計測 7 分～5 分 2 段目ウエーブ、リッジ復習、強化、計測 7 分～5 分 3 段目ウエーブ、リッジ、スカルプチュアカール復習、強化
	トレンドメイク	作品作り②	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
9	美容実習	オールウエーブセッティング 基本	1 段目馬蹄シェーブ、スカルプチュアカール（スライス、手順、ビニング）、計測 7 分～5 分 2 段目ウエーブ、リッジ復習、強化、計測 7 分～5 分 3 段目ウエーブ、リッジ、スカルプチュアカール復習、強化、計測 1 0 分～8 分
	トレンドメイク	スチールメイク①	テーマに合わせた作品制作に向けてのメイク
10	美容実習	オールウエーブセッティング 基本	1 段目馬蹄シェーブ、スカルプチュアカール（スライス、手順、ビニング）、計測 5 分 2 段目ウエーブ、リッジ復習、強化、計測 5 分 3 段目ウエーブ、リッジ、スカルプチュアカール復習、強化、計測 1 0 分～8 分
	トレンドメイク	スチールメイク②	テーマに合わせた作品制作に向けてのメイク
11	美容実習	オールウエーブセッティング まとめ	オールウエーブセッティングまとめを実施する 1 段目～3 段目計測 1 8 分 右側、左側ウエーブ、リッジ、くり抜き導入
	トレンドメイク	スチールメイク③	テーマに合わせた作品制作に向けてのメイク
12	美容実習	オールウエーブセッティング 基本	1 ～3 段目構成、計測 1 8 分～1 5 分 右側、左側ウエーブ、リッジ、くり抜き復習、強化
	トレンドメイク	テスト	作品作りに合わせて、実技テストを行う
13	美容実習	オールウエーブセッティング 基本	1 ～3 段目構成、計測 1 5 分 右側、左側ウエーブ、リッジ、くり抜き復習、強化、計測左右各 6 分～5 分
	トレンドメイク	作品作り③	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
14	美容実習	オールウエーブセッティング 基本	オールウエーブセッティング総まとめを実施する 1 ～3 段目、右側・左側ウエーブ、リッジ、くり抜き計測 2 7 分
	トレンドメイク	作品作り④	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
15	総合授業		後期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	美容実習Ⅰ－F	
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅰ－F	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	2 60
使用教材			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容室として現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。		
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。		
評価基準	企業側評価 6 0 % 学校側評価 4 0 % （ビジネスマナー 2 0 % ・ 各コース該当項目 2 0 % ）		
認定条件	・ 出席が総時間数の 5 0 時間以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目	就職対策Ⅰ		
備考			
担当教員	大村 瑞紀	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	施設実習	施設実習
2	施設実習	施設実習
3	施設実習	施設実習
4	施設実習	施設実習
5	施設実習	施設実習
6	施設実習	施設実習
7	施設実習	施設実習
8	施設実習	施設実習
9	施設実習	施設実習
10	施設実習	施設実習
11	施設実習	施設実習
12	施設実習	施設実習
13	施設実習	施設実習
14	施設実習	施設実習
15	施設実習	施設実習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビジネスマナー		
必修選択	必修	(学則表記)	ビジネスマナー		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	サービス接客検定公式テキスト3級 サービス接客検定実問題集3級 就職ハンドブック		出版社	早稲田教育出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける		
到達目標	サービス接客検定3級に合格する。 美容の現場で敬語の使い方ができるようになる。社会人としてのマナーを身につける。		
評価基準	【前期評価】テスト50%、課題・提出物30% 授業態度等20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	サービス接客検定3級		
関連科目	就職対策		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	大廣 彩	実務経験	○
実務内容	客室乗務員として国内外のフライトを経験,3機種の客室責任者資格取得		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ビジネスマナーとは	授業の目的・到達目標について ビジネスマナーを学ぶ意味を知る
2	サービススタッフの資質	サービス業界で求められているものについて
3	対人技能（敬語）①	様々な接客用語・敬語について
4	対人技能（敬語）②	尊敬語・謙譲語・二重敬語について
5	対人技能（一般的なマナー）	動作を行う際の基本・ポイントについて
6	サービススタッフの資質	必要とされる要件の復習・従業要件について
7	専門知識・一般知識	サービス知識、従業知識、一般知識について
8	対人技能①	人間関係について
9	対人技能②	一般的なマナー・接客者としてのマナーについて
10	対人技能③	話し方について
11	実務技能①	問題処理について
12	実務技能②	環境整備・金品管理について
13	社交業務	社交儀礼の業務について
14	総復習	1～13回までの総復習
15	総合授業	総まとめ
16	検定対策授業	復習と練習問題
17	検定対策授業	復習と練習問題
18	検定対策授業	復習と練習問題
19	検定対策授業	復習と練習問題
20	検定対策授業	復習と練習問題

21	検定対策授業	復習・検定問題の解答・解説
22	敬語・社会常識 SPI・時事問題 ①	就職活動に向け、筆記対策や履歴書について
23	敬語・社会常識 SPI・時事問題 ②	就職活動に向け、筆記対策や履歴書について
24	社交文書 ①	縦書き・横書きレイアウトについて 文書の種類・文書の構成・頭語と結語・時候の挨拶・前文、末文の慣用句
25	社交文書 ②	郵便の基礎知識～宛名の書き方、返信はがき、お礼状について
26	理想の美容従事者像	お客様から愛され・親しまれる美容従事者について
27	実技演習①「受付～誘導」	受付から誘導のロールプレイング演習
28	実技演習①「面接練習」	面接試験の種類とチェックポイントについて
	実技演習②「電話対応」	面接ロールプレイング
29	実技演習③「お茶出し」	電話のかけ方・受け方、伝言メモ、予約電話のシミュレーション
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	カラー & ファッション		
必修選択	必修	(学則表記)	カラー & ファッション		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	新配色カード パーソナルカラーコーディネート検定テキスト パーソナルカラーコーディネート検定課題集			出版社	日本色研事業(株) クリエスクール

科目の基礎情報②

授業のねらい	ファッションの知識と共にヘアメイクとしてのトータルコーディネートとメイクとしての似合わせ等のカラー知識				
到達目標	様々なシーンでトータルコーディネートをする時に、しっかりとした理由付けが出来る				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業態度等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	パーソナルカラーコーディネート検定(任意)				
関連科目	美容実習Ⅰ-C				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	沼倉 明子			実務経験	○
実務内容	スタイリスト兼ヘアメイク担当やイメージコンサルタントなど幅広く活動				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ファッションとメイクの関連について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 メイクとファッションの繋がり
2	服の歴史について①	服の成り立ち(古代～中世)
3	服の歴史について②	服の成り立ち(中世～近代)
4	コレクションについて①	コレクション開催4都市について
5	コレクションについて②	コレクションブランドについて (シーズンサイクルなど)
6	コレクションについて③	オートクチュール
7	コレクションについて④	プレタポルテ(レディース・メンズ)
8	コレクションについて⑤	コレクションの歴史と開催都市等の総まとめ
9	トレンドについて①	雑誌、SNSの見方と情報収集
10	トレンドについて②	トレンド研究を行う
11	ファッションデザイナー①	雑誌・SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる
12	ファッションデザイナー②	雑誌・SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる
13	ファッションデザイナー	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画(コンセプトシートの作成)
14	ファッションデザイナー	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画(コンセプトシートの作成)
15	総合授業	まとめを行う
16	パーソナルカラー	色の面白さやイメージを知る
17	色の連想	色彩心理前に自分の感じる色を考えてみる
18	色の連想色の特徴①	無彩色、有彩色、三属性、トーンについて
19	色の特徴②	無彩色、有彩色、三属性、トーンについて
20	色の心理的効果	心理的効果について
21	配色①	色相、トーンについて
22	配色②	配色の応用、イメージ配色
23	色と光について	色の見える仕組み
24	対比と同化	対比と同化について
25	混色	混色の原理について
26	パーソナルカラーの基礎①	パーソナルカラーの基礎
27	パーソナルカラーの基礎②	パーソナルカラーの基礎
28	パーソナルカラーのアドバイ	シーズンごとに似合うファッションスタイルについて
29	パーソナルカラーのアドバイ	シーズンごとに似合うファッションスタイルについて
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム	
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラム	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科・ヘアメイク科	30
使用教材	7つの習慣Jテキスト、夢のスケッチブック		出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	社会人としてあるべき人格を高め、自身および他者へのリーダーシップを醸成し主体性を発揮する人材を育成する		
到達目標	「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する		
評価基準	小テスト／レポート：２０％　授業態度：４０％　提出物：４０％		
認定条件	出席が総時間数の３分の２以上ある者 成績評価が２以上の者		
関連資格			
関連科目	就職対策等		
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型授業形式を併用し、実施する。		
担当教員	前川　和也　他１名	実務経験	○
実務内容	美容室にて美容師として勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	未来デザインプログラム授業への価値付けを行うため。また日誌を書くことの意味についても説明し、今日からの取り組みを伝える
2	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの概念を知り、自分制限パラダイムを取り払った状態で夢スケの日誌継続を促進する
3	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解させ、自分との約束を守らせる
4	刺激と反応	刺激と反応の考え方を理解させ、一時停止ボタンを使っていこうと思わせる
5	言葉～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が成功へと繋がることを気付き・理解・行動させる
6	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にし、今自分がやるべき事、考えるべき事を知る
7	選んだ道と選ばなかった道	自分の選択は自分の気持ち次第であり自分が決めたことに対して決意をさせる
8	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解するため（スタプロの復習・再確認の場を兼ねる）
9	人生のビジョン	10年後のなりたい自分像の考えさせることによって、スタプロで考えた「卒業時の姿」をより鮮明にさせる
10	自分の価値観を知る	なりたい姿を鮮明にすることの大切さを知り、自分の価値観を深掘りすることで、将来のなりたい姿を確固たるものにする
11	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ。決意させたことをアクションに落として、実際に活動させる
12	時間管理のマトリクス	第2領域を優先したスケジュール管理について学ぶ
13	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解させ、信頼にも貯金箱があることを理解させる
14	私的成功の振り返り	主に私的成功の習慣（前期授業内容）の復習（知識確認）
15	成功するための原則	前期の総括とともに、あきらめないことの大切さを伝えモチベーションを高める
16	Win-Winを考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを理解させる
17	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
18	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、理解してから理解するという考え方があるということを学ばせる

19	相乗効果を発揮する	人と違いがあることに価値があるということを伝える
20	自分を磨く	自分を磨くことの大切さを伝え、具体的な行動を考えさせる
21	過去の自分とこれからの人生	具体的なライフプラン・人生の目的/目標設定に繋がるモチベーションを引き出す
22	人生ビジョンを見直そう	望む生活をするためにお金が必要であることを知り、現実的なライフプランが大切であることを理解させる
23	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高める
24	未来マップを作ろう②	未来マップを発表し合うことで、自身の夢を宣言し、実現に向けた決意を促す
25	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える機会とする
26	X Y ゲーム	ゲームを通じて未来デザインプログラムで学んだことを常実践することは難しいということを学ぶ
27	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラム授業で学んだことの復習（知識確認）
28	後期の総括	後期の総括と2年生にむけてモチベーションを高める
29	2年生に向けて①	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度も頑張ろうと決意させる
30	2年生に向けて②	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度も頑張ろうと決意させる

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシック・パーソナルメイク	
必修選択	必修	(学則表記)	ベーシック・パーソナルメイク	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	90
使用教材	メイク道具一式		出版社	ユアサポート

科目の基礎情報②

授業のねらい	スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。		
到達目標	スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。		
評価基準	テスト50％、提出物30％ 授業意欲20％		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(後期)		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	高橋 由美子	実務経験	○
実務内容	トータルビューティーサロンにて勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	スキンケア	スキンケア(手順)、反復練習
3	スキンケア/ベースメイク	スキンケア復習、ベースメイク(手順)
4	スキンケア/ベースメイク	スキンケアテスト10分ファンデーション(手順の復習、質感・多色塗)
5	ベースメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)、ベースメイクの振り返り
6	ベースメイク/ポイントメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)ポイントメイク(アイシャドウ)
7	セルフメイク	セルフメイク
8	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
9	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
10	ポイントメイク	ポイントメイク(リップ、チーク、ハイ&ローライト)
11	フルメイク	ベースメイクから、全てのポイントメイクを行う
12	フルメイク	フルメイクテスト35分×2、ベーシックテクニックの振り返り
13	ソフト	フルメイク(ソフト)
14	シャープ	フルメイク(シャープ)
15	総合授業	まとめを行う
16	フルメイク/座学	検定試験に向けて試験概要の伝達 フルメイク(ソフト)
17	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
18	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
19	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)

20	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
21	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
22	ブレ検定	スキンケア10分・フルメイク34分行う テスト扱いとする
23	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(問題集にて検定対策を行う)
24	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
25	錯覚	錯覚について導入、実践
26	色、質感	色、質感について導入、実践
27	色、質感	色、質感について導入、実践
28	フルメイク	フルメイクまとめテスト
29	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	テクニカルヘアメイク	
必修選択	必修	(学則表記)	テクニカルヘアメイク	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	60
使用教材	メイク道具一式		出版社	ユアサポート

科目の基礎情報②

授業のねらい	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出来る様にする。		
到達目標	ブラッシング・ピンングのヘアアレンジの基本テクニックを理解する。		
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	高橋 由美子	実務経験	○
実務内容	トータルビューティーサロンにて勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	シニヨン・土台作り／重ね夜会巻き	シニヨン・土台作り／夜会巻き導入
2	シニヨン・土台作り／重ね夜会巻き	シニヨン・土台作り／夜会巻き復習
3	重ね夜会巻き／本夜会巻き	夜会巻き復習
4	重ね夜会巻き／本夜会巻き	夜会巻きテスト、振り返り
5	カールアップ	カールアップ導入
6	スタイル作り①	カールアップを使ったスタイル作り
7	スタイル作り②	カールアップを使ったスタイル作り
8	ハーフアップ／ダウンスタイル①	普段や流行を取り入れたスタイル作り
9	ハーフアップ／ダウンスタイル②	普段や流行を取り入れたスタイル作り
10	スタイルチェンジ①	アップ⇒ハーフ⇒ダウンとチェンジ出来るスタイル作り
11	スタイルチェンジ②	アップ⇒ハーフ⇒ダウンとチェンジ出来るスタイル作り
12	新日本髪①	テーマに合わせたスタイル作りと振り返り
13	新日本髪②	テーマに合わせたスタイル作りと振り返り
14	新日本髪④	テーマに合わせたスタイル作りと振り返り
15	総合授業	まとめを行う
16	学外実習導入	・実習について
17	自己PRを考える	・自己PRを考える
18	実習用自己PRシートの作成①	・自己PRシートの作成（下書き）
19	実習用自己PRシートの作成②	・自己PRシートの作成（完成）
20	一般常識	・一般常識プリント
21	一般常識	・一般常識プリント
22	学外実習にむけて①	・アポイントの取り方、訪問のマナー、身だしなみ
23	学外実習にむけて②	・実習手帳についての説明（実習心得・サロン概要記入・守秘義務）
24	就職活動に向けて①	・就職活動のルールについて
25	就職活動に向けて②	・就職活動のポイント
26	就職活動に向けて③	・身だしなみチェック
27	就職活動に向けて④	・履歴書の作成
28	就職活動に向けて⑤	・履歴書の作成
29	就職活動に向けて⑥	・履歴書の作成
30	総合授業	・総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	スチール撮影実習Ⅰ	
必修選択	必修	(学則表記)	スチール撮影実習Ⅰ	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1 30
使用教材	カメラ機材・筆記用具・ノート・ファイル		出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によっては注意点を理解し、実践力を身につける		
到達目標	色・光・影の出方によるメイク映えを知る		
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	美容実習Ⅰ-E、スチール撮影実習Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	高橋 由美子	実務経験	○
実務内容	トータルビューティーサロンにて勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 光と影について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	写真のバランス・レイアウト	レイアウトやモデルのポージングについて
3	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影カメラの構え方やレンズの使い方を知る
4	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影露出補正を使いながら意図する明るさで撮る
5	カメラの使い方	撮影のフィードバックとレンズワークによる遠近感の変化絞りやレンズワークによる背景のボケ方の説明
6	レフの使い方	室内でレフを使った撮影練習
7	作品作り①	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り
8	作品作り②	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り
9	スチール①	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等準備・試し撮り
10	スチール②	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等準備・試し撮り
11	スチール③	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等準備・試し撮り
12	テスト	作品作りに合わせたテスト、振り返り
13	作品作り③	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り
14	作品作り④	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り
15	総合授業	まとめを行う
16	学外実習導入	・実習について
17	自己PRを考える	・自己PRを考える
18	実習用自己PRシートの作成①	・自己PRシートの作成(下書き)
19	実習用自己PRシートの作成②	・自己PRシートの作成(完成)
20	一般常識	・一般常識プリント
21	一般常識	・一般常識プリント
22	学外実習にむけて①	・アポイントの取り方、訪問のマナー、身だしなみ
23	学外実習にむけて②	・実習手帳についての説明(実習心得・サロン概要記入・守秘義務)
24	就職活動に向けて①	・就職活動のルールについて
25	就職活動に向けて②	・就職活動のポイント
26	就職活動に向けて③	・身だしなみチェック
27	就職活動に向けて④	・履歴書の作成
28	就職活動に向けて⑤	・履歴書の作成
29	就職活動に向けて⑥	・履歴書の作成
30	総合授業	・総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策I	
必修選択	必修	(学則表記)	就職対策I	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科・ヘアメイク科	30
使用教材	就職ガイドブック		出版社	自校作成

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職するうえで必要な知識や心構えを身に付ける		
到達目標	就職希望サロンを明確にし、内定取得に向けての知識・心構えが身に付いている		
評価基準	テスト：５０％　提出物：３０％　授業態度：２０％		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が２以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式に実施する。		
担当教員	細谷　恵子　他1名	実務経験	○
実務内容	結婚式場にてブライダルヘアメイクアップアーティストとして勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・アンケート記入	・就職指導を行う目的を理解
2	職業理解	・スケジュールの組み立てと就職への意識付け
3	職業研究	・各職業の業務内容や1日の流れを説明
4	身だしなみ導入	・目指す職業に就くにあたり必要な資格や能力を自分と照らし合わせながら考える
5	身だしなみ	・目指す職業に就くにあたり必要な身だしなみを考える
6	一般常識	・職業に適した身だしなみの実践
7	一般常識	・一般常識プリント
8	自己分析①	・一般常識プリント
9	自己分析②	・大事にしたい価値観を理解する
10	自己分析③	・過去の経験を振り返る
11	サロン研究	・自分の強みと弱みを知る
12	サロン見学	・自分が目指すサロンについて調べる
13	グループディスカッション	・サロン見学の仕方
14	グループディスカッション	・サロン体験について、グループ発表
15	総合授業	・サロン体験について、グループ発表
16	学外実習導入	・前期の振り返り
17	自己PRを考える	・実習について
18	実習用自己PRシートの作成①	・自己PRを考える
19	実習用自己PRシートの作成②	・自己PRシートの作成（下書き）
20	一般常識	・自己PRシートの作成（完成）
21	一般常識	・一般常識プリント
22	学外実習にむけて①	・一般常識プリント
23	学外実習にむけて②	・アポイントの取り方、訪問のマナー、身だしなみ
24	就職活動に向けて①	・実習手帳についての説明（実習心得・サロン概要記入・守秘義務）
25	就職活動に向けて②	・就職活動のルールについて
26	就職活動に向けて③	・就職活動のポイント
27	就職活動に向けて④	・身だしなみチェック
28	就職活動に向けて⑤	・履歴書の作成
29	就職活動に向けて⑥	・履歴書の作成
30	総合授業	・履歴書の作成
		・総まとめ